

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「中小型成長株オープン（愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン）」は、このたび、第23期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式のうち、相対的に時価総額が中小型規模の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第23期末(2025年9月4日)

| | |
|------------|----------|
| 基準価額 | 42,680円 |
| 純資産総額 | 1,006百万円 |
| 第23期 | |
| 騰落率 | 28.1% |
| 分配金(税引前)合計 | 0円 |

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

中小型成長株オープン (愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン)

追加型投信／国内／株式

作成対象期間：2025年3月5日～2025年9月4日

交付運用報告書

第23期(決算日2025年9月4日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

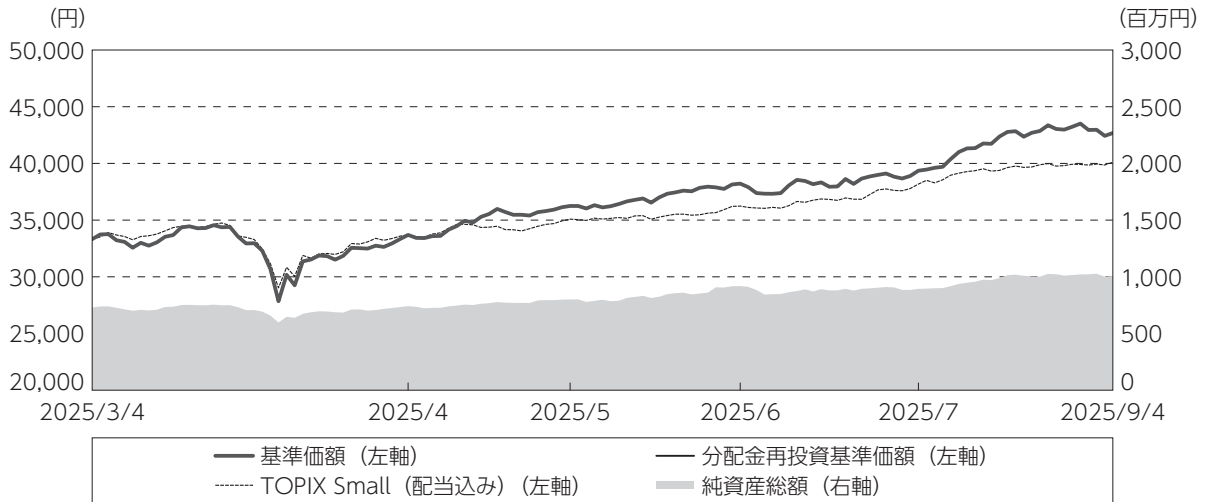
■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年3月5日～2025年9月4日)



期 首：33,320円

期 末：42,680円(既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 28.1%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、TOPIX Small (配当込み)です。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご覧ください。(以下同じ。)

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2025年3月4日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・業種配分では、機械、建設業、電気機器などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、三井海洋開発、トヨコー、三井E&Sなどが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では、医薬品、輸送用機器、精密機器などが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、GENDA、ペプチドリーム、Synspectiveなどが基準価額にマイナスに影響しました。

1 万口当たりの費用明細

(2025年3月5日～2025年9月4日)

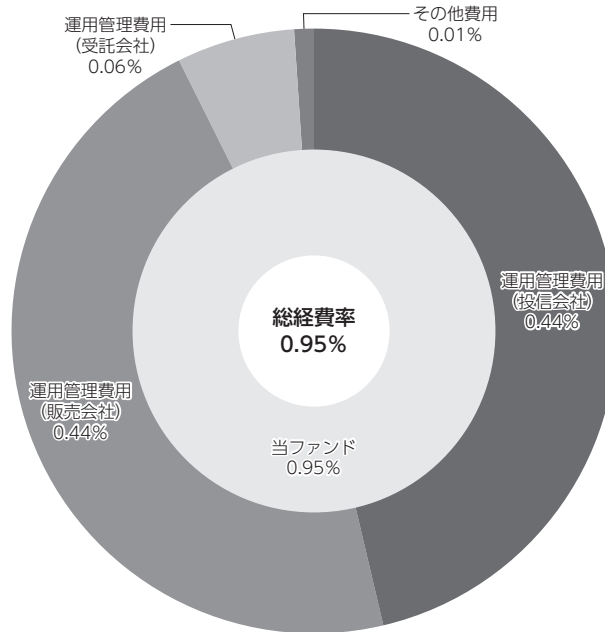
| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|----------|------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 176 円 | 0.471 % | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (83) | (0.222) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (83) | (0.222) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (10) | (0.028) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 47 | 0.126 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (47) | (0.126) | 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) そ の 他 費 用 | 2 | 0.005 | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (2) | (0.005) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 225 | 0.602 | |
| 期中の平均基準価額は、37,429円です。 | | | |

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.95%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年9月4日～2025年9月4日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) TOPIX Small (配当込み) は当ファンドの参考指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年9月4日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2020年9月4日 期初 | 2021年9月6日 決算日 | 2022年9月5日 決算日 | 2023年9月4日 決算日 | 2024年9月4日 決算日 | 2025年9月4日 決算日 |
|----------------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (円) | 21,989 | 25,767 | 26,212 | 28,467 | 32,503 | 42,680 |
| 期間分配金合計(税引前) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 17.2 | 1.7 | 8.6 | 14.2 | 31.3 |
| TOPIX Small (配当込み) 騰落率 (%) | — | 25.3 | △ 4.0 | 25.0 | 9.4 | 25.0 |
| 純資産総額 (百万円) | 1,342 | 748 | 685 | 727 | 725 | 1,006 |

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

投資環境

(2025年3月5日～2025年9月4日)

当期の国内株式市場は、関税交渉の動向に大きく振り回される相場展開となりました。2025年3月下旬から4月上旬にかけては、米国の関税政策による世界経済や企業業績に対する悪影響への懸念が強まり、株式市場は急落する場面がみられました。しかし、その後は、関税交渉の進展に伴う不透明感の後退や、日本企業の積極的な自社株買いや構造改革期待などを背景に、堅調な株価推移となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月5日～2025年9月4日)

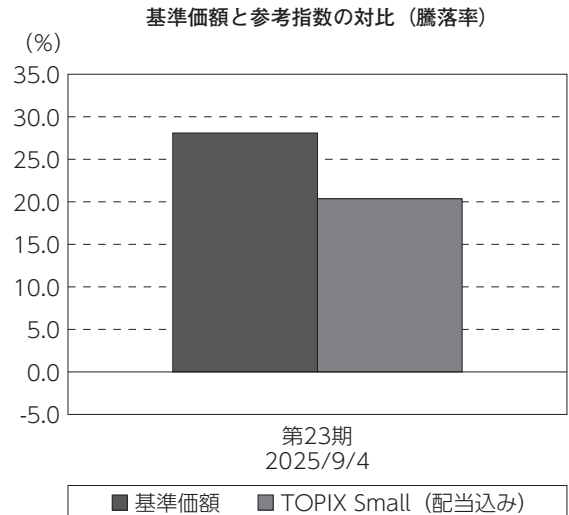
当ファンドの運用につきましては、企業の中長期的な利益成長ポテンシャルや業績変化に着目した銘柄選別を実施しました。

具体的には、次世代スマートメーターへの切り替えが業績成長を後押しすると考えた大崎電気工業や、プローブカードの拡販に伴う利益成長が期待される日本電子材料などを買い付けました。一方、AIエージェント関連ビジネスの拡大が想定よりも遅れていると判断したフレクトや、当面の利益成長期待が概ね株価に織り込まれたと判断した図研などを売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月5日～2025年9月4日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) 参考指数は、TOPIX Small (配当込み)です。

分配金

(2025年3月5日～2025年9月4日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

| 項 目 | 第23期 |
|-----------|-------------------------|
| | 2025年3月5日～ 2025年9月4日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 32,680 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の国内株式市場は上昇基調が続くと予想します。日米関税交渉の合意によって不透明感が大幅に後退したことや、米国の利下げ期待の高まりが支援材料になると見ています。2025年7月以降の株価の上昇ペースが速いことに加えて、バリュエーション面では過熱感が意識されやすいことから、短期的には調整圧力が強まることも考えられますが、その際には、個人投資家の豊富な待機資金が買い向かうことが想定できます。2026年度の企業業績の回復や米国の利下げを織り込む形で、国内株は上昇する見通しです。

当ファンドの運用につきましては、中小型・新興市場株の中から、高い技術力や優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などに着目し、飛躍的な利益成長が期待される企業の株式に投資します。

今後の運用につきましては、決算内容の精査や積極的な企業取材を通じて、業績変化率と株価バリュエーション、また株主還元余地などに着目した銘柄選択を心掛けてまいります。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

お知らせ

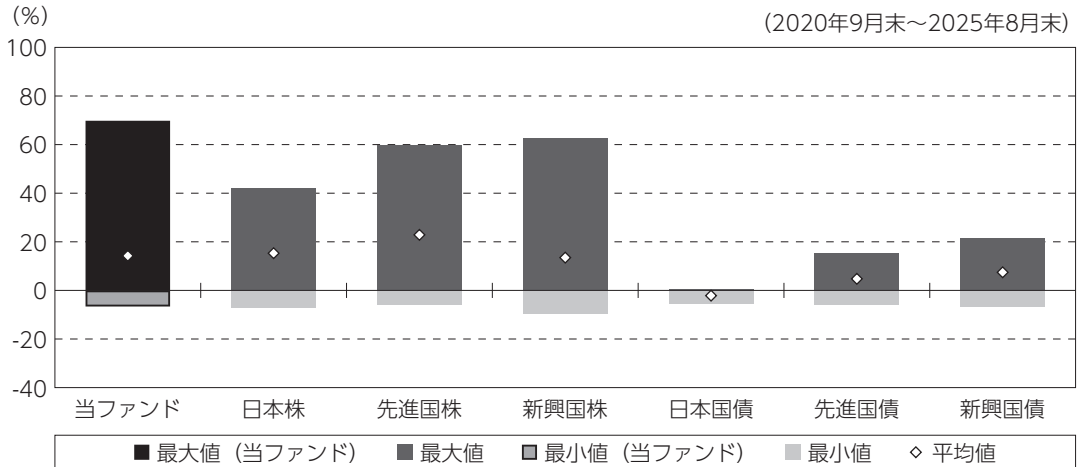
- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2025年4月1日)
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

| | |
|---------|--|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／国内／株式 |
| 信 託 期 間 | 2014年3月10日から2029年3月2日までです。 |
| 運 用 方 針 | 主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式のうち、相対的に時価総額が中小型規模の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。また、新興市場の株式に積極的に投資する場合があります。 |
| 主要投資対象 | わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。 |
| 運 用 方 法 | 株式への投資にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、飛躍的な成長が期待される企業の株式を選別します。 |
| 分 配 方 針 | 毎年3月4日および9月4日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。 |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 69.8 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 0.6 | 15.3 | 21.5 |
| 最小値 | △ 6.6 | △ 7.1 | △ 5.8 | △ 9.7 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 7.0 |
| 平均値 | 14.2 | 15.3 | 22.9 | 13.5 | △ 2.2 | 4.8 | 7.4 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年9月から2025年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

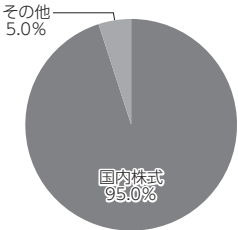
組入資産の内容

(2025年9月4日現在)

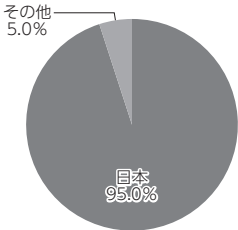
○組入上位 10 銘柄

| | 銘柄名 | 業種 / 種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|-------|----------------|----------|------|-------|-----|
| | | | | | % |
| 1 | ハピネット | 卸売業 | 円 | 日本 | 7.0 |
| 2 | 三井海洋開発 | 機械 | 円 | 日本 | 6.0 |
| 3 | キッツ | 機械 | 円 | 日本 | 5.8 |
| 4 | 西華産業 | 卸売業 | 円 | 日本 | 5.3 |
| 5 | 大崎電気工業 | 電気機器 | 円 | 日本 | 4.5 |
| 6 | 日本電子材料 | 電気機器 | 円 | 日本 | 4.1 |
| 7 | 大栄環境 | サービス業 | 円 | 日本 | 4.0 |
| 8 | 三精テクノロジーズ | 機械 | 円 | 日本 | 3.9 |
| 9 | 鴻池運輸 | 陸運業 | 円 | 日本 | 3.7 |
| 10 | アジアパイルホールディングス | ガラス・土石製品 | 円 | 日本 | 3.6 |
| 組入銘柄数 | | | 31銘柄 | | |

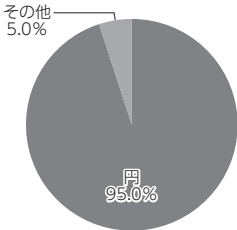
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

| 項目 | 第23期末 |
|------------|----------------|
| | 2025年9月4日 |
| 純資産総額 | 1,006,841,346円 |
| 受益権総口数 | 235,902,764口 |
| 1万口当たり基準価額 | 42,680円 |

(注) 期中における追加設定元本額は161,963,729円、同解約元本額は144,855,162円です。

＜当ファンドの参考指数について＞

配当込みTOPIX Small (以下、「TOPIX Small (配当込み)」といいます。)の指数値及びTOPIX Small (配当込み)に係る標準又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社 (以下「J P X」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX Small (配当込み)に関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIX Small (配当込み)に係る標準又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIX Small (配当込み)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。